

I 調査結果の概要



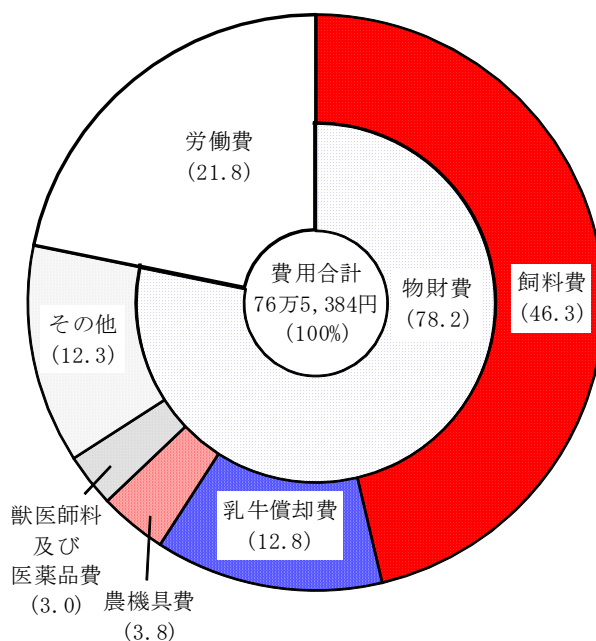
1 牛乳生産費

(1) 平成20年度の搾乳牛通年換算1頭当たり（以下「搾乳牛1頭当たり」という。）の資本利子・地代全額算入生産費（以下「全算入生産費」という。）は74万7,791円で、前年度に比べ5.3%増加し、生乳100kg当たり（乳脂肪分3.5%換算）全算入生産費は8,191円で、前年度に比べ4.3%増加した。

(2) 搾乳牛1頭当たり全算入生産費が増加したのは、飼料価格の高騰により飼料費が増加したこと等による。

(3) 搾乳牛1頭当たり粗収益は、乳価が上昇したことにより前年度に比べ4.5%増加し、75万742円となった。

図1 主要費目の構成割合
(搾乳牛1頭当たり)



注：飼料費には、配合飼料価格安定制度の補てん金は含まない。

第1表 牛乳の生産費及び収益性

区分	搾乳牛通年換算1頭当たり		生乳100kg当たり（乳脂肪分3.5%換算乳量）		
	実数	対前年増減率	実数	対前年増減率	
生産費	物財費	598 188	5.8	6 552	4.8
	労働費	167 196	△ 0.9	1 831	△ 1.8
	費用合計	765 384	4.3	8 383	3.3
	生産費（副産物価額差引）	703 720	5.9	7 708	4.9
	支払利子・地代算入生産費	715 147	5.8	7 833	4.8
	資本利子・地代全額算入生産費	747 791	5.3	8 191	4.3
粗収益	750 742	4.5	-	-	

単位 { 実数：円
増減率：%

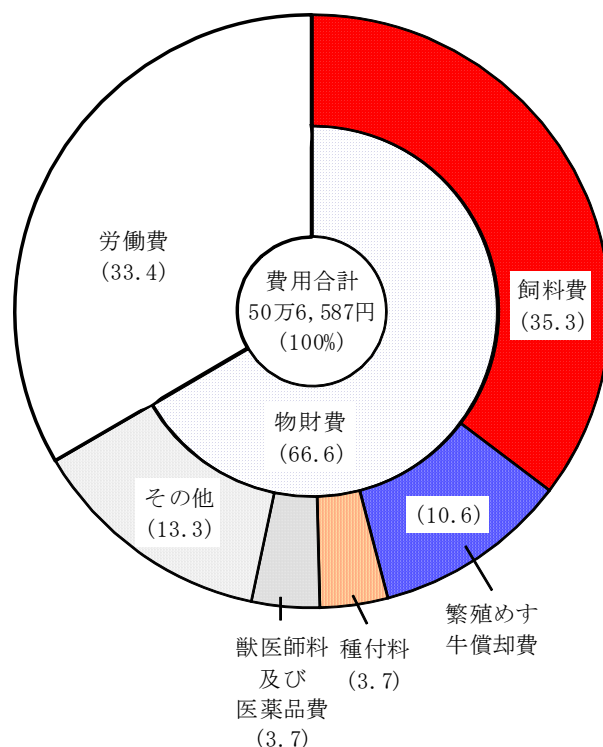
2 子牛生産費

(1) 繁殖めす牛を飼養し、肉専用種の子牛を販売する経営における平成20年度の子牛1頭当たり全算入生産費は55万2,521円で、前年度に比べ8.4%増加した。

(2) 全算入生産費が増加したのは、労働費は前年並みであったものの、配合飼料価格の上昇により飼料費が増加したこと等による。

(3) 繁殖めす牛1頭当たり粗収益は、和子牛市場価格が低下したことから前年度に比べ20.9%減少し、39万4,500円となった。

図2 主要費目の構成割合
(子牛1頭当たり)



注：飼料費には、配合飼料価格安定制度の補てん金は含まない。

第2表 子牛の生産費及び収益性

区 分		実 数	対 前 年 増 減 率
生 産 費	子牛1頭当たり		
	物 財 費	337 195	16.7
	労 働 費	169 392	△ 4.5
	費用合計	506 587	8.6
	生産費（副産物価額差引）	475 469	9.7
費	支払利子・地代算入生産費	483 044	9.6
	資本利子・地代全額算入生産費	552 521	8.4
繁殖めす牛1頭当たり			
粗 収 益		394 500	△ 20.9

注：粗収益には、肉用子牛生産者補給金等の補助金を含まない。

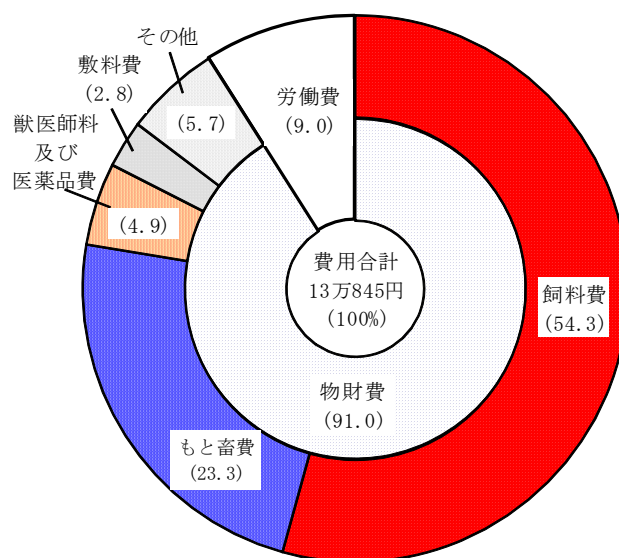
3 乳用おす育成牛生産費

(1) 乳用種のおす子牛を育成し、販売する経営における平成20年度の乳用おす育成牛1頭当たり全算入生産費は13万2,487円で、前年度に比べ5.7%減少した。

(2) 全算入生産費が減少したのは、飼料費は増加したものの、もと牛導入時期（主に平成19年9月～20年8月）におけるもと畜費が減少したこと等による。

(3) 1頭当たり粗収益は、肉用子牛（乳用種）市場価格が低下したことから前年度に比べ13.7%減少し、9万7,344円となった。

図3 主要費目の構成割合（1頭当たり）



注：飼料費には、配合飼料価格安定制度の補てん金は含まない。

第3表 乳用おす育成牛の生産費及び収益性

区分	1頭当たり	
	実数	対前年増減率
物財費	119,072	△ 6.4
労働費	11,773	△ 0.9
費用合計	130,845	△ 5.9
生産費（副産物価額差引）	129,084	△ 5.6
支払利子・地代算入生産費	129,458	△ 6.4
資本利子・地代全額算入生産費	132,487	△ 5.7
粗収益	97,344	△ 13.7

注：粗収益には、肉用子牛生産者補給金等の補助金を含まない。

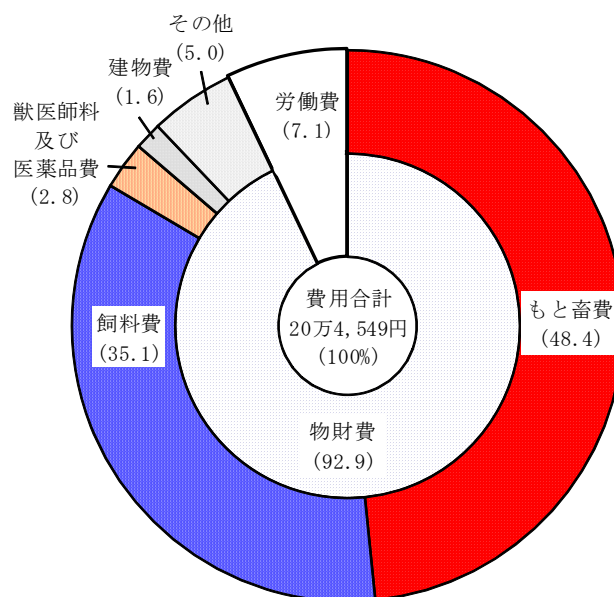
4 交雑種育成牛生産費

(1) 交雑種の子牛を育成し、販売する経営における平成20年度の交雑種育成牛1頭当たり全算入生産費は20万6,238円で、前年度に比べ14.3%減少した。

(2) 全算入生産費が減少したのは、飼料費は増加したものの、もと牛導入時期（主に平成19年9月～20年8月）におけるもと畜費が減少したこと等による。

(3) 1頭当たり粗収益は、肉用子牛（交雑種）市場価格が低下したことから前年度に比べ23.9%減少し、17万3,095円となった。

図4 主要費目の構成割合（1頭当たり）



注：飼料費には、配合飼料価格安定制度の補てん金は含まない。

第4表 交雑種育成牛の生産費及び収益性

区分	1頭当たり	
	実数	対前年増減率
物財費	190,083	△ 15.2
労働費	14,466	△ 2.0
費用合計	204,549	△ 14.4
生産費（副産物価額差引）	202,215	△ 14.5
支払利子・地代算入生産費	204,416	△ 14.0
資本利子・地代全額算入生産費	206,238	△ 14.3
粗収益	173,095	△ 23.9

単位 { 実数：円
増減率：%

注：粗収益には、肉用子牛生産者補給金等の補助金を含まない。

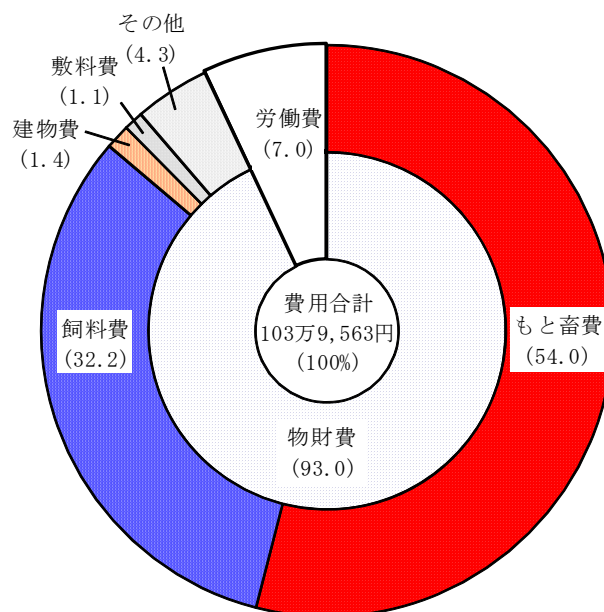
5 去勢若齡肥育牛生産費

(1) 肉専用種の去勢若齡肥育和牛を肥育し、販売する経営における平成20年度の去勢若齡肥育牛1頭当たり全算入生産費は105万5,310円で、前年度に比べ8.0%増加した。

(2) 全算入生産費が増加したのは、もと牛導入時期（主に平成18年8月～19年7月）におけるもと畜費が増加したことや、配合飼料価格の上昇により飼料費が増加したこと等による。

(3) 1頭当たり粗収益は、去勢肥育和牛市場価格が低下したことから前年度に比べ7.4%減少し、87万8,605円となった。

図5 主要費目の構成割合
(1頭当たり)



注：飼料費には、配合飼料価格安定制度の補てん金は含まない。

第5表 去勢若齡肥育牛の生産費及び収益性

区分	1頭当たり		生体100kg当たり	
	実数	対前年増減率	実数	対前年増減率
物財費	966 785	8.6	130 909	6.7
労働費	72 751	△ 2.6	9 850	△ 4.3
費用合計	1 039 536	7.8	140 759	5.9
生産費（副産物価額差引）	1 027 972	8.2	139 193	6.3
支払利子・地代算入生産費	1 042 587	8.2	141 172	6.3
資本利子・地代全額算入生産費	1 055 310	8.0	142 895	6.1
粗収益	878 605	△ 7.4	-	-

注：粗収益には、肉用牛肥育経営安定対策事業の補てん金等の補助金を含まない。

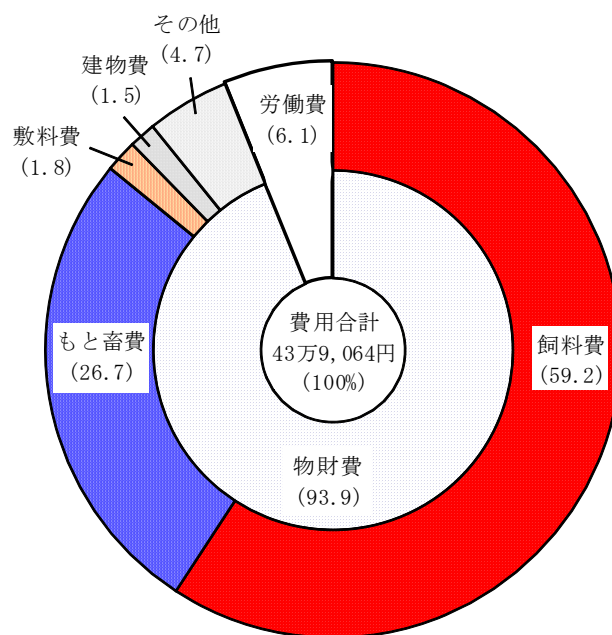
6 乳用おす肥育牛生産費

(1) 乳用種のおす牛を肥育し、販売する経営における平成20年度の乳用おす肥育牛1頭当たり全算入生産費は44万2,105円で、前年度に比べ6.3%増加した。

(2) 全算入生産費が増加したのは、もと畜費は減少したものの、配合飼料価格の上昇により飼料費が増加したこと等による。

(3) 1頭当たり粗収益は、肉用牛（乳用種）市場価格が上昇したことから前年度に比べ3.8%増加し、35万7,220円となった。

図6 主要費目の構成割合
(1頭当たり)



注：飼料費には、配合飼料価格安定制度の補てん金は含まない。

第6表 乳用おす肥育牛の生産費及び収益性

区分	1頭当たり		生体100kg当たり	
	実数	対前年増減率	実数	対前年増減率
物財費	412,078	7.5	54,504	6.7
労働費	26,986	1.0	3,626	1.9
費用合計	439,064	7.1	58,130	6.4
生産費（副産物価額差引）	432,687	7.1	57,286	6.4
支払利子・地代算入生産費	435,448	6.8	57,651	6.2
資本利子・地代全額算入生産費	442,105	6.3	58,532	5.6
粗収益	357,220	3.8	-	-

注：粗収益には、肉用牛肥育経営安定対策事業の補てん金等の補助金を含まない。

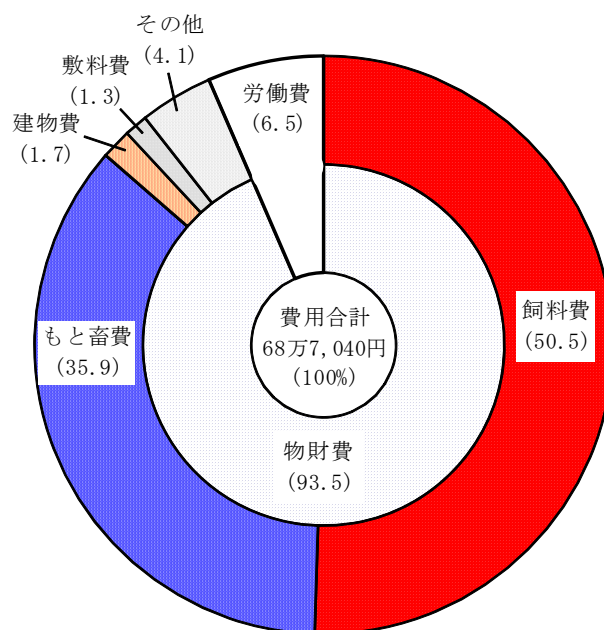
7 交雑種肥育牛生産費

(1) 交雑種の牛を肥育し、販売する経営における平成20年度の交雑種肥育牛1頭当たり全算入生産費は70万1,274円で、前年度に比べ4.9%増加した。

(2) 全算入生産費が増加したのは、もと畜費は減少したものの、配合飼料価格の上昇により飼料費が増加したこと等による。

(3) 1頭当たり粗収益は、肉用牛（交雑種）市場価格が低下したことから前年度に比べ9.7%減少し、52万6,297円となった。

図7 主要費目の構成割合
(1頭当たり)



注：飼料費には、配合飼料価格安定制度の補てん金は含まない。

第7表 交雑種肥育牛の生産費及び収益性

区分		1頭当たり		生体100kg当たり	
		実数	対前年増減率	実数	対前年増減率
生産費	物財費	642,460	4.7	85,476	5.7
	労働費	44,580	3.6	5,932	4.6
	費用合計	687,040	4.6	91,408	5.6
	生産費（副産物価額差引）	680,274	4.8	90,508	5.8
	支払利子・地代算入生産費	686,312	4.7	91,311	5.7
	資本利子・地代全額算入生産費	701,274	4.9	93,302	5.9
粗収益		526,297	△ 9.7	-	-

注：粗収益には、肉用牛肥育経営安定対策事業の補てん金等の補助金を含まない。

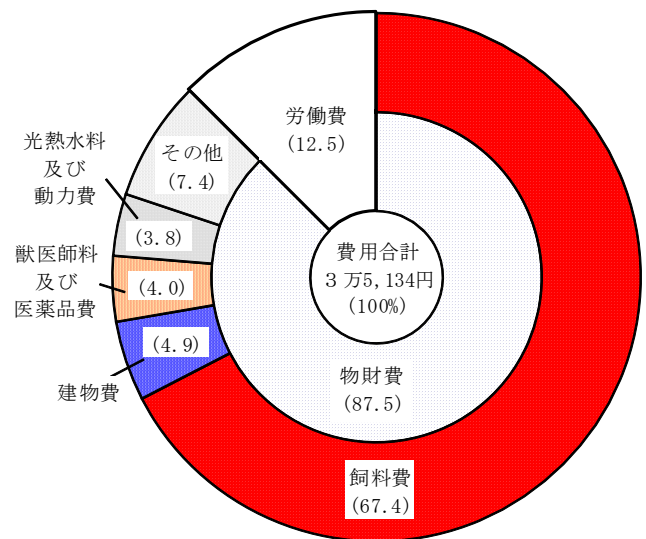
8 肥育豚生産費

(1) 平成20年度の肥育豚1頭当たり全算入生産費は3万5,337円で、前年度に比べ3.9%増加し、生体100kg当たり全算入生産費は3万1,320円で、前年度に比べ3.3%増加した。

(2) 全算入生産費が増加したのは、配合飼料価格の高騰により飼料費が増加したこと等による。

(3) 1頭当たり粗収益は、豚枝肉価格が年度後半に軟化したものの、前半は堅調に推移したことから、前年度並みで、3万4,690円となった。

図8 主要費目の構成割合
(1頭当たり)



注：飼料費には、配合飼料価格安定制度の補てん金は含まない。

第8表 肥育豚の生産費及び収益性

区分	1頭当たり		生体100kg当たり	
	実数	対前年増減率	実数	対前年増減率
生	30,741	4.8	27,245	4.2
産	4,393	0.2	3,894	△0.3
費	35,134	4.2	31,139	3.6
	34,301	3.8	30,401	3.3
	34,468	3.7	30,549	3.2
	35,337	3.9	31,320	3.3
粗収益	34,690	△0.6	-	-

単位 { 実数：円
増減率：%